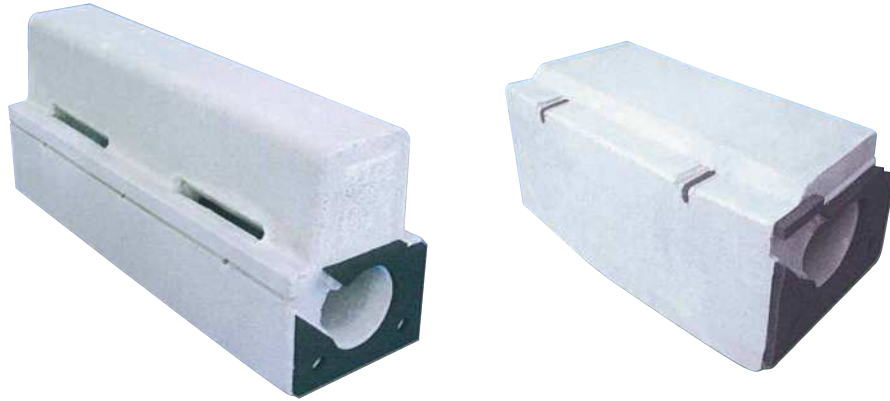


# ライン導水ブロック(水路内蔵型歩車道境界ブロック)

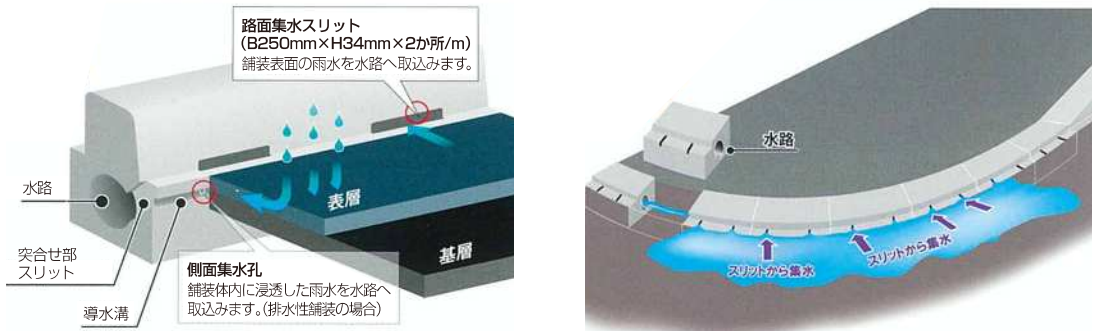
L型街渠の代替構造物として、水路を一体化した歩車道境界ブロック

NETIS旧登録技術(KK-020004-VE)



標準部

歩道切下部



ライン導水ブロックは、道路空間の再配分に役立ちます

歩道拡幅



右・左折レーンの増設



歩車共存道路の構造的分離



自転車レーン



自転車道



バス停の設置



01

ボックス  
カルバート

02

コンクリート  
床版

03

擁壁

04

道路用製品  
VS側溝

05

道路用製品  
側溝

06

道路用製品  
境界ブロック

07

柵

08

パラコン製品

09

名古屋市製品

10

その他製品

11

会社概要

# ライン導水ブロック(水路内蔵型歩車道境界ブロック)

## ライン導水ブロックの構造的な特長

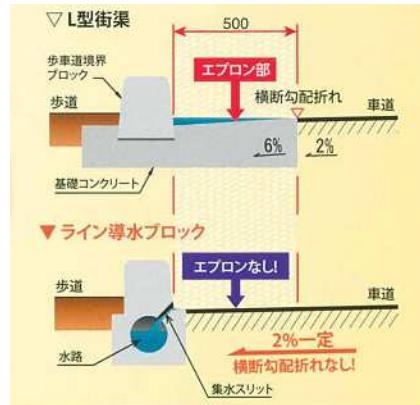
L型街渠の代替構造物として、歩車道境界ブロックと基礎コンクリートを一体化し、水路と集水スリットを設けた構造とすることで、

**エプロンをなくすることができます。**

その結果、このようなメリットが生まれます

①平坦な路面が拡大し、路肩走行の安全性が向上

②水溜り解消・水ハネ抑制



### ①路肩走行の安全性向上

エプロンがなくなることで段差や溝を解消し、平坦性を確保します。

自転車走行空間を拡大し、安全な走行を実現します。



### 平坦性の確保、段差・溝の解消

・横断勾配折れがなくなり、平坦性を確保。  
・通行の妨げとなる段差や溝が解消。



### ②水溜り解消&水ハネ抑制

バリアである水溜りを解消し、歩行者が快適に通行できます。

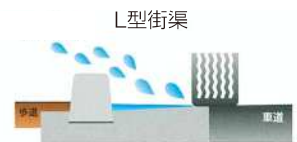
#### 交差点部の水溜り解消

連続する集水スリットにより路面水を速やかに集水し、水溜りを解消します。



#### 歩行者への水ハネ抑制

水溜りがなくなることで、水ハネを抑制します。



01  
ボックス  
カルバート

02  
コンクリート  
床版

03  
擁壁

04  
道路用製品  
VS側溝

05  
道路用製品  
側溝

06  
道路用製品  
境界ブロック

07  
樹

08  
パラコン製品

09  
名古屋市製品

10  
その他製品

11  
会社概要

# ライン導水ブロック(水路内蔵型歩車道境界ブロック)

## 施工性向上

縁石と水路が一体型でコンパクトなため、施工性が向上します。

### 工程短縮

工種が少なく工程短縮ができるため、沿道住民への負担(騒音・振動)を軽減し、現道交通への影響(渋滞、事故の可能性)も軽減できます。

### 交通規制範囲の縮小

交通規制範囲を縮小し、現道交通への影響(渋滞、事故の可能性)を低減します。

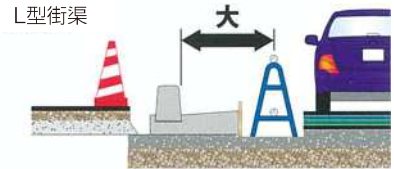
L型街渠



ライン導水ブロック



L型街渠



ライン導水ブロック



工程(基礎砕石工)

- ①型枠工(縁石基礎)
- ②コンクリート工(縁石基礎)
- ③養生→型枠脱型
- ④路側工
- ⑤コンクリート工(エプロン)
- ⑥養生→型枠脱型

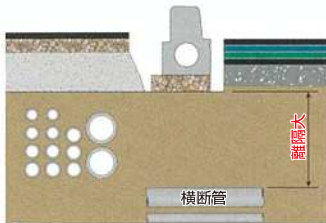
工程(基礎砕石工)

- ①路側工

1工程で  
縁石と水路の設置が可能

### 地下埋設物と干渉リスクの低減

断面がコンパクトなので地下埋設物との干渉リスクを低減できます。



### 工程

現場施工時の工種が少なくて済むため極めて優れる。

### 品質・出来形

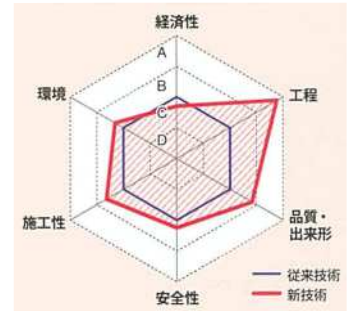
二次製品を使用することから優れる。

### 施工性

現場施工の減少により優れる。

### 経済性 環境 安全性

従来技術と同等。



総合評価 従来技術より優れる。

※従来技術：現場打ちL型街渠  
※NETIS「活用促進技術」の認定内容(2015年2月)

## メンテナンスについて

スリットの清掃



スリットの清掃は、工具を使用して行います。

※高圧洗浄による清掃も可能です。

管路内の清掃



縁石柵から高圧洗浄機で清掃します。

柵の清掃



柵に集まってきたゴミは、工具を使用して清掃します。

01

ボックス  
カルバート

02

コンクリート  
床版

03

擁壁

04

道路用製品  
VS側溝

05

道路用製品  
側溝

06

道路用製品  
境界ブロック

07

柵

08

パラコン製品

09

名古屋市製品

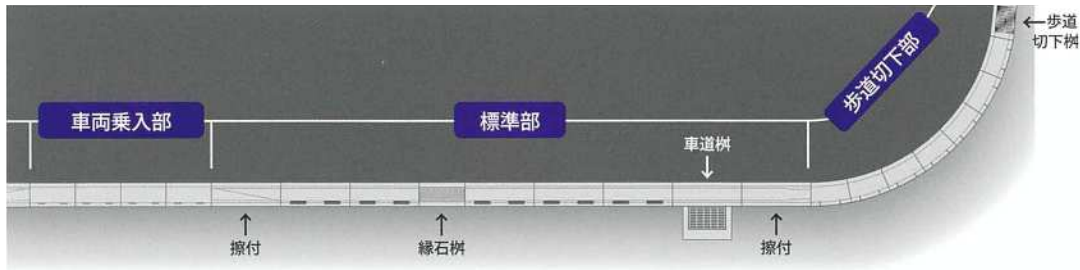
10

その他製品

11

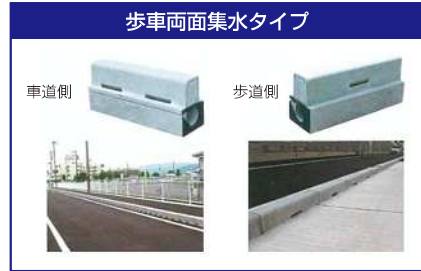
会社概要

# ライン導水ブロック(水路内蔵型歩車道境界ブロック)



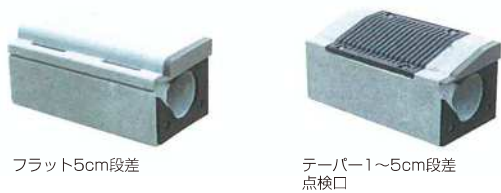
標準A・B φ150・φ200 L=1000mm

※A…A種(縁石高さ15cm)  
 ※B…B種(縁石高さ20cm)  
 (点検口はL=600mm)



車両乗入 φ150 L=600mm

テーパー1~5cm段差、  
 フラット5cm段差 T-25  
 対応  
 ※φ200については別途ご相談ください。



擦付(車両乗入) φ150 L=1000mm

※φ200については別途  
 ご相談ください。



標準B⇔  
 テーパー1~5cm段差(左)

擦付(歩道切下) φ150 L=1000mm

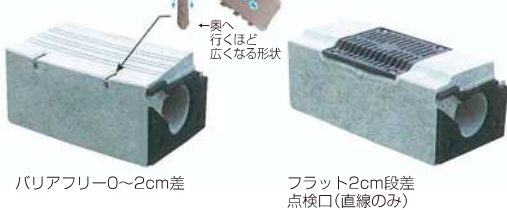


標準B⇔  
 フラット2cm段差(右)

歩道切下 φ125 L=600mm

フラット1cm・2cm段差、テーパー0~2cm段差  
 バリアフリー0~2cm段差(R1.5を除く) T-25  
 対応  
 R1.5 | R2.5 | R3.5 | R4.5 |  
 R6.0 | R12.0 | 直線

切下部分ブロックは集水口に  
 プラスチック部品を使用して  
 集水機能低下を防いでいます。



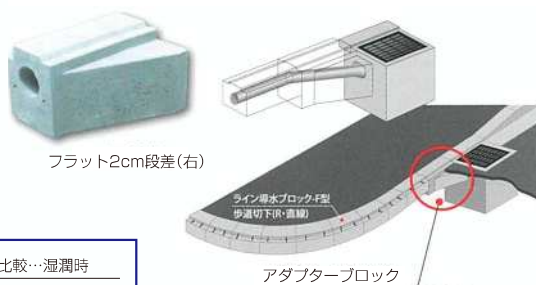
バリアフリー0~2cm差

フラット2cm段差  
 点検口(直線のみ)

アダプターブロック

φ125 L=600mm T-25  
 対応

既設柵への接続が可能です。



フラット2cm段差(右)

アダプターブロック

歩道切下: フラット1cm・2cm段差に対応

バイコン製法の特性上、  
 製品表面が粗面となり滑りにくく、  
**スリップ転倒事故の危険性を低減します。**

滑り抵抗値(BPN値)比較…湿潤時

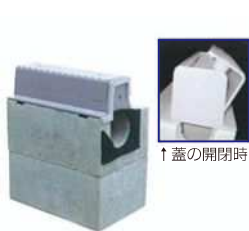
一般的な製品	55程度
<b>ライン導水ブロック</b>	<b>65~90程度</b>
※アスファルト舗装:	60~80、
マンホール蓋:	20~40

縁石柵(A・B) φ150・φ200 L=600mm

車道柵(A・B) φ150・φ200 T-25  
 対応

車両乗入柵 φ150 L=600mm T-25  
 対応

歩道切下柵 φ125 L=600mm T-25  
 対応



縁石柵Aφ150



↑蓋の開閉時



車道柵Bφ150



テーパー1~5cm段差



フラット2cm段差

01  
 ボックス  
 カルバート

02  
 コンクリート  
 床版

03  
 擁壁

04  
 道路用製品  
 VS側溝

05  
 道路用製品  
 側溝

06  
 道路用製品  
 境界ブロック

07  
 柵

08  
 ポラコン製品

09  
 名古屋市製品

10  
 その他製品

11  
 会社概要